

車両情報システムの海外展開

増淵洋一*
竹山雅之*

Train Information System in Overseas Market

Yoichi Masubuchi, Masayuki Takeyama

要旨

車両情報システム、すなわち鉄道車両に搭載される制御・監視ネットワークシステムは、列車の安全・安定運行への貢献や、快適な乗客サービスの提供に欠くことのできないものとして、近年その重要性を増している。三菱電機は、国内市場で10,000両以上の車両に車両情報システムの納入実績を持っているが、海外市場においても過去20年にわたり累計3,000両を超える車両に納入実績を持っている。

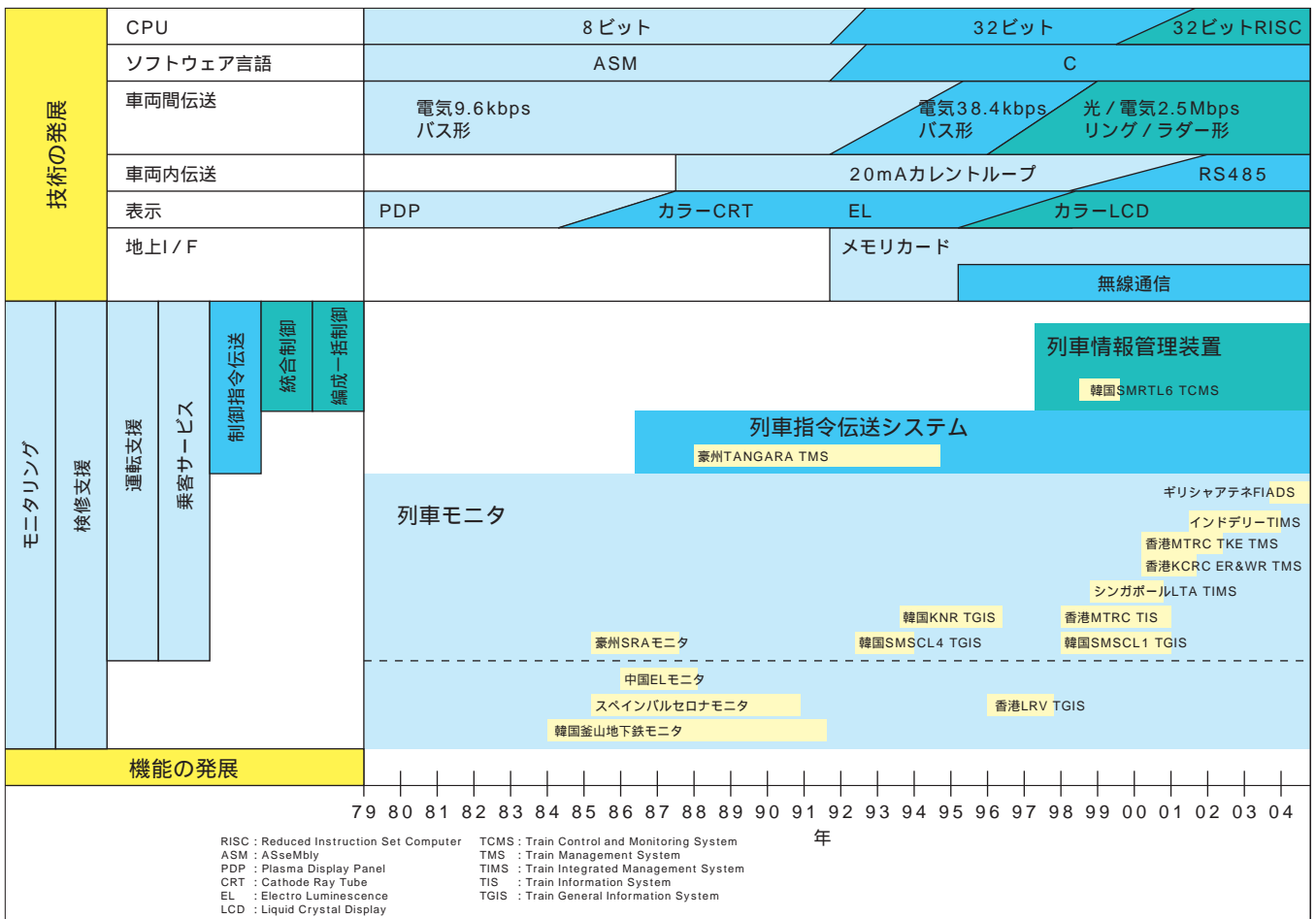
海外市場で求められる機能は基本的に国内向けと同じであるが、顧客要求仕様の特徴として“ Proven Technology の採用 ” “ 規格への準拠 ” “ ソフトウェアの公開 ” が挙げられる。

規格への準拠では、鉄道車両用の伝送規格として制定さ

れているIEC(International Electrotechnical Commission) 61375 - 1 への対応策として、当社は、IEC国内委員会傘下の作業部会で鉄道事業者及び各メーカーと協力して、日本で実績のある最新の伝送方式をIEC 61375 - 1 に追加しようとする活動を行っている。

ソフトウェアの公開では、応答性や信頼性の高さを得るために独自のソフトウェア技術を発展させてきたが、鉄道事業者にとっては、ソフトウェアの保守性に不安を感じさせることになる。対応策として、FA(Factory Automation)分野に適用されている汎用技術を取り入れることや、最新のオブジェクト指向技術を適用したソフトウェア生産の標準フレームワークの適用を進めている。

特集 II



車両情報システムの技術の発展と海外納入実績

当社は、これまで海外市場において3,000両以上の車両に車両情報システムを納入している。

*交通システム事業所